

社会福祉法人 めやす箱

2025 年度 法人事業計画

1. 法人理念

○ 利用者主体のニーズの追求

利用者支援において利用者・ご家族に常に寄り添い、受容傾聴の態度で支援にのぞむ。
また、主訴はどこにあるのかを検討し利用者・ご家族の希望・要望に沿った支援・サービスの提供に取り組む。

○ ナンバーワンの福祉サービスを目指す

利用者・ご家族が、めやす箱の提供するサービスに対して常に高い満足度を感じてもらう為、サービスの質の向上に努める。ナンバーワンの福祉サービスについては、日々の利用者・ご家族との対話や法人満足度調査の結果等様々な観点から検討する。
ナンバーワンの福祉サービスを決めるのは、当事者の評価である事を意識し、選ばれる立場である事を忘れず、サービスの向上に取り組む。

○ 職員が働きやすい環境作り

ワークライフバランスの充実やメンタルヘルスケア等、働く上で心身の基盤が安定しなければ、質の高いサービスの提供は行えず人材定着にも繋がらない。
職場内の人間関係や労務管理など安心して働ける職場環境の整備に取り組み、働きやすい環境作りに努める。

2. 2025 年度法人運営方針

- ① 法人理念の基、利用者の人権を尊重し尊厳を侵すことのないよう日々努める。
- ② 利用者・ご家族の希望・要望に耳を傾け真摯に対応し、利用者の自立に向けた良質なサービス・支援を提供する。
- ③ 働きやすい職場作りと人材育成に積極的に取り組み、職員が日々安心して力を発揮できる法人運営に努める。
- ④ 社会福祉法人として、地域住民への還元・地域資源の構築・社会的弱者の救済等社会問題に対し法人全体で積極的に取り組む。
- ⑤ 社会情勢が変動する中、社会福祉法人として求められる新たな福祉サービス供給体制の整備に向けた財務基盤と経営組織体制の構築に取り組む。

3. 2025 年度法人重点目標

- ① サービスの質・支援力の向上
- ② 働きやすい環境作りの推進
- ③ 法人を担う人材の確保・定着・育成

- ④ 法人組織の活性化と経営基盤の強化
- ⑤ 地域共生社会の実現に向けた公益的取り組みの推進

4. 2025 年度重点目標における具体的取り組み

① サービスの質・支援力の向上

- ・ 2024 年度サービス満足度調査における意見・要望に対し法人全体で検討を行い、法人事業計画、部門事業計画に反映し改善に取り組む。
- ・ 2025 年 4 月開設する「支援サポートセンターめやすばこ・リーチ」を活用し、法人全体の支援力・専門性の向上に取り組む。
- ・ 利用者の権利擁護・自己実現を尊重した支援が行えるよう、虐待防止委員会を中心に研修・勉強会を実施し学びを深め、利用者主体の支援に取り組む。
- ・ 法人内に設置する各委員会の活性化を図り、求められる機能を果たすことで、法令を遵守した利用者支援、サービスの提供に取り組む。
- ・ サービスの質向上に向け、福祉サービス第三者評価の活用、推進について今後法人全体で検討する。

② 働きやすい環境作りの推進

- ・ 2025 年度より「働きやすさ推進委員会」を発足し、委員会内で職員の働きやすさにおける環境整備、ハラスメント対応における組織整備及び対策について継続的に検討する。
- ・ 2024 年度に法人職員対象に実施した外部機関による働きやすさアンケート結果を検証し、職員の働きやすさと満足度向上に向けて具体的な取り組みを検討する。
- ・ 2024 年度作成したハラスメント定義、ハラスメント委員会規程、ハラスメント対応マニュアルの実用化に向けて法人全職員に周知し、ハラスメント対応の体制整備を進めていく。
- ・ 法人内における研修・各種会議において職員の負荷軽減を目的に、勤務時間内での開催を法人全体で推奨する。

③ 法人を担う人材の確保・定着・育成

- ・ ホームページ、パンフレット、SNS での採用広告や各種説明会等に積極的に参加し、幅広い層の人材を募り、良質な人材の確保に繋げる。
- ・ 人材育成において、法人理念・事業計画・事業方針を明確化し、研修の機会を確保し、必要なスキル・意識を習得できる研修計画に取り組む。
- ・ 多様な働き方に対応した新たな人事考課・キャリアパス制度構築に向け、外部コンサルタントと連携し継続的な協議を行う。
- ・ 職員一人ひとりが明確なキャリアアップやキャリアデザインが描けるようなキャリア

パス制度、育成体制を整えることで、継続して働くことのできる魅力的な職場作りに取り組む。

④ 法人組織の活性化と経営基盤の強化

- ・管理職間の連携強化の一環として、年間2回（4月、10月）法人全管理者が集合し法人事業計画、中長期計画策定、新規事業展開等に関わる意見交換を行うことで管理職が一丸となって法人の未来を描けるような法人運営を目指す。
- ・法人本部体制を強化し、法人全体最適の視点での戦略的人事・事業展開・人材育成を行う組織体制への移行を図る。
- ・安定的な法人運営を行う為、目標収益を常に意識し事業運営に取り組む。
- ・持続的かつ安定した法人運営を行うため、法人中長期計画の策定、新規事業展開、財務基盤整備、次世代の経営層・管理職の育成に取り組む。

⑤ 地域共生社会の実現に向けた公益的取り組みの推進

- ・地域における様々な福祉課題、生活課題に対して、地域貢献委員会を中心に関係機関等と連携・協働を図り公益的な取り組みを推進する。
- ・社会福祉法人として地域連携を通じた貢献事業の実施に加え、生活困窮者に対する食糧支援に積極的に取り組む。
- ・地域住民との交流を図ることで障害に対する理解を深め、地域福祉の推進を図る。
- ・地域の福祉人材育成を目的に、社会福祉士・精神保健福祉士・保育士等の資格取得を目的とした実習生の受け入れを積極的に行う。

【具体的な取り組み】

- 地域住民向け研修会の開催
- 生活困窮者への支援（フードバンク、フードドライブ、フードパントリーによる食材や生活物資の提供）
- 被災地復興支援のための募金活動・現地への職員派遣
- チャリティーイベント（めやすばこフェスタ）の開催

5. 法人事業展開

- ・2025.4 日中一時支援めやすばこ・りんぐ開設
- ・2025.4 支援サポートセンター めやすばこ・りーち開設
- ・2025.4 倉敷市ひきこもり相談支援事業開始予定
- ・2025年度内 就労選択支援（新規サービス）開始予定
- ・2025年度内 グループホームめやす箱Ⅳ 開設準備予定

6. 法人年間計画

4 月	○BCP 基礎研修 ○法人基礎研修 ○法人管理者会議
5 月	○火災想定避難訓練 ○食中毒予防・蔓延防止研修 ○法人全体研修 ○エルダー研修 ○法人広報誌発行
6 月	○法人理事会・評議員会 ○法人説明会
7 月	○水害想定避難訓練 ○虐待防止研修 ○法人採用試験
8 月	○職員親睦会 ○法人広報誌発行
9 月	○法人全体研修 ○エルダー研修 ○法人説明会法人採用試験
10 月	○震災想定避難訓練 ○感染症予防・蔓延防止研修 ○基礎研修 ○法人管理者会議 ○めやすばこフェスタ 2025
11 月	○災害時 BCP 訓練研修 ○法人広報誌発行
12 月	○身体拘束適正化研修
1 月	○不審者対応想定避難訓練 ○法人全体研修
2 月	○基礎研修 ○エルダー研修 ○法人広報誌発行
3 月	○辞令交付式 ○法人理事会